

【相良村】 校務DX計画

1. 趣旨

相良村では、GIGA スクール構想に基づき、令和2年度から ICT 環境の整備を進めてきた。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められている。

これらの課題を解決するため、本市町村では教職員の働き方改革の一環として、校務のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた具体的な取組を進めることとする。

2. 相良村における課題等について

「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果（文部科学省 令和5年11月実施）を踏まえ、相良村における次の課題を明確にした。これらの課題解決に向けて、各学校と連携を強化しながら、校務DXの推進を図る必要がある。

現状と課題

- ・ 校務DX化において各学校で使用するツールが異なり、学校間の共有がうまくいっていない。
- ・ 校務支援システムのクラウド化が行われていない。
- ・ 教育委員会での指針等がないため、クラウドサービスの利用有無を学校現場に任せているところがある。

3. 校務DXに向けた取組みについて

（1）学校間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れる

- 学校での運営管理の観点から統一を図っていき、全体でのDXを進めていくこととする。学校ではすでに取組が行われているものの、情報漏洩などの危険性もあるため、アカウントの管理等を教育委員会及びICT支援員で行い、村内学校間でのクラウドサービスも利用できるよう、環境の整備を行っていく。

（2）校務支援システムのクラウド化を進める

- システム更新時期に合わせてクラウド版の導入の検討を進め、先生たちへ共有し、スムーズなクラウドへの移行を行う。これにより、校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃等の業務効率化を行うことで、先生たちの業務負担を軽減していく。

- (3) 職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化を進める
- すでに実施している学校も多いが、使用の有無については学校判断としている。村内での統一化を図りペーパーレス化を進めるため、押印廃止の促進、必要以上のFAX・紙媒体でのやり取りを極力無くし、メール・クラウド上でのやり取りを推進していく。
- (4) 教職員・保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計する
- 各学校の規模に応じて使用について判断してもらっているが、クラウドサービスを進んで使用してもらい、集計等に係る事務処理の効率化も行ってもらおう。
- (5) 児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計する
- 各学校使用連絡ツールについて学校判断としていたが、今後の管理運用について個人情報保護等の観点からアカウントの管理等に問題が生じるため、教育委員会にて管理できるアカウントを作成・使用し、機密性を高めていく。